

湯築地区社会福祉協議会

福祉だより

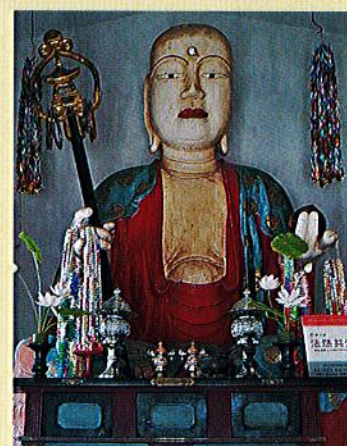
人 口：11,992人
世 帯 数：6,668世帯
高齢化率：29.4%
(R5.1.1現在 / 地区別推計人口)

編集・発行：
湯築地区社会福祉協議会



浄土宗 圓滿寺

道後温泉本館から東へ徒歩3分のカラフルな「お結び玉」が目立つこのお寺は、阿彌陀如来が本尊の寺院です。本堂手前の仏堂には、奈良時代の僧・行基が彫ったとされる大きな「湯の大地蔵尊」が鎮座し、別名「火除け地蔵」ともいわれています。「火除け地蔵」から転じて、浮気封じ、夫婦円満、さらに恋愛成就や良縁祈願など、たくさんのご利益があるとされています。



日々の努力の積み重ね

道後公民館

館長 向井 益子

日頃より公民館活動にご理解・ご協力をいただきまして心より感謝しております。

右も左もわからないまま興味津々で公民館の活動に関わっていつの間にか十二年経ちました。遊ぶこと、楽しいことが大好きで事業を通じて新発見続き、お陰様で地域の多くの皆様と集い、語り合い、知り合えたこと非常に嬉しく思います。この出会いを大事にし、日々社協さんとも連携し、協働作業の中でたくさんの方々と集い、楽しみ、語らい、触れ合い、学習できる場の拠点として関わり会える空間づくりを皆様と共に頑張っていけたらなあと思います。コソコソ亀のように努力すれば成し遂げる事ができると信じています。今後とも、より一層のご指導・鞭撻のほど、お願い申し上げます。

地域での活動風景

湯築地区のミニサロンは今年も祝谷分館にて実施しています。健康相談・検温・血圧測定に始まり、手芸や脳トレなど楽しく取り組んでいます。また、湯築小学校4年生を対象とした福祉講座も計3回開かれました。



折り紙でくす玉作り (R4.9.14)



みなさんで (R4.11.9)



血圧測定 (R4.12.14)



湯築小での福祉講座 (R4.11.8)

～安心カードみまもり支援事業～

《この事業は赤い羽根共同募金の配分金が使われています》

“もしも……”のときのために

『安心キット』を備えておきませんか!?



65歳以上の高齢者や障がいがある方等の安全・安心を確保するため「緊急連絡先」や「かかりつけ病院」などを記入した『みまもり安心カード』を「持病薬の説明書」などとともに『安心キット』に入れ、冷蔵庫で保管していただきます。

緊急時の迅速・的確な救命・救助活動につながります。

また、災害時に避難所等へ持参すると、あなたの命の情報を伝えてくれます。

『安心キット』のセットは、地域の担当民生委員が配布しています。

地域包括センターはあなたの身近な相談窓口です。なんでもご相談ください。

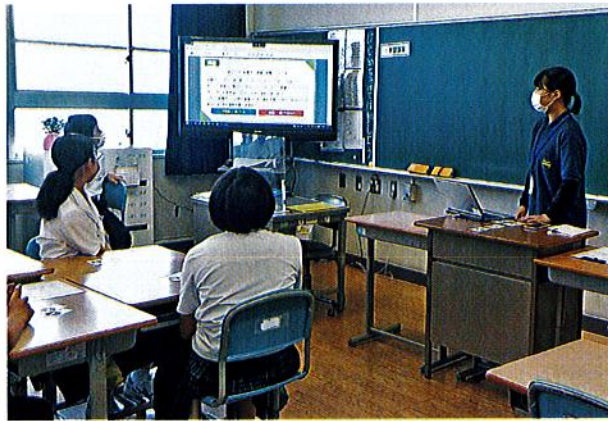
松山市地域包括センター 桑原・道後

☎089-993-5666 持田町1丁目3番30号 シェーンブルン持田1階

みなさまの権利を守り、自立して生活できるようさまざまな方面からみなさまを支えます。



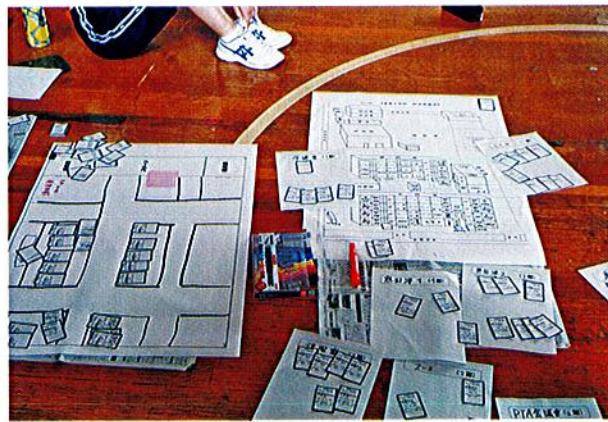
マイタイムラインの作成 (R4.7.13)



講師を招いてのワークショップ (R4.7.4)



消防訓練見学 (R4.12.1)



避難所運営ゲーム (R4.7.8)

地域に合った防災学習の推進

道後中学校 校長 清川 宜博

あけましておめでとございます。日頃より、本校の教育活動に御理解と御支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

社会経済活動と同様に、学校行事でも昨年とは違った内容を取り入れ、少しでも充実した教育活動を目指しています。

本校は総合的な学習の時間に全学年で「防災学習」に取り組んでいます。一年生は「自助・自分の命を守る」、二年生は「公助・自治体と連携した防災対策」、三年生は「共助・地域とともに学ぶ防災」をテーマに、松山市の防災・危機管理課や消防署、愛媛大学防災情報研究センター等の協力を得て学習を進め、今年度は避難段階に応じて取るべき行動を具体的にまとめた「マイ・タイムライン」を全学年で作成しました。

また、三年生は「避難所運営ゲーム(HUG)」にも取り組みました。道後中学校が避難所に指定されたことを想定し、地域の方に開放するスペースの運営や、非難された方それぞれに必要な配慮等について学びを深めました。今後も、時代の流れや地域の特性に沿った防災学習を進めていきたいと考えています。



第四分湯場の手湯を体験



入浴体験をした飛鳥乃湯泉



道後商店街にてお接待



愛媛のミカンを配りました

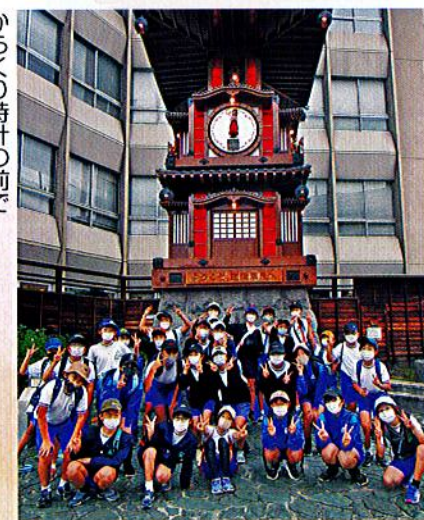
地域は学びの宝庫！

「湯築の町はわくわくがいっぱい！」

湯築小学校 校長 金築 治美

「あつ、白鷺だ。きれい！」下校中に、子どもが指さす方に顔を向けると、真っ白い凛とした白鷺の姿が目に見え込んできました。その美しい姿に見入るとともに改めて、白鷺は湯築っ子たちの意識の中に根付いていることを実感させられました。校章のモチーフにもなっている白鷺は、道後温泉のつばんからも、湯築っ子の成長を見つめてくれているようにも思います。

子どもたちは、そんな湯築の町を学びのフィールドとし、どの学年もそれぞれの成長過程において様々な体験を通して、実感を伴った学びを重ねています。今年は、地域の方にお世話になり、五、六年生の児童が三年振りに、飛鳥乃湯泉の入浴体験並びに道後温泉駅前のおもてなし体験を行うことができました。友達と一緒に温泉につかったり、観光客とふれあったりする中で、改めて自分たちの住む町の素晴らしさや、町を支える地域の人たちの存在を実感しました。これからも地域とつながり合い、わくわくする学びを進めていきたいと思っています。



からくり時計の前で